

ゴーヘッドズ 速報

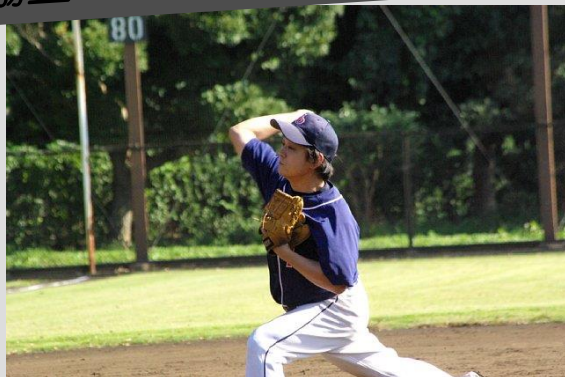
Goaheads

第33号 平成25年10月13日

少ないチャンスに適時打炸裂！

達脇上々の出来！5回無四球！

	1	2	3	4	5	6	7	R
T	0	0	0	0	0	1	0	1
G	2	0	1	0	0	2	×	5



10/13(日)ヘッドズ戦という事で、神奈川県にエントリーしているトーキングヘッドズ戦を野島公園にて行った。連休、晴天という事から、駐車場の心配が懸念されたが、混雑感は見えたものの、無事駐車場に入場する事も出来、13:10ゲーム開始となった。先発は達脇、毎回の事ながら如何に与四死球を少なくし、ゲームを作る事が出来るか、打線が繋がるかが、戦いの争点になるはず。そんな心配の中、初球の入りはストライクから、先頭を2球で打ち取ると、その後2打者に対してモストライク先行で、初回ボールを投じたのは、僅か2球だけ、という今期一番の立ち上がりを見た。その裏の攻撃、相手投手の乱調と失策を絡め、無安打で2点を先制し、初回からリードする有利な展開になった。続く回にも好調は維持され、野手の失策で出塁は許したものの、この日も4人をきっちり抑え、4回までノ・セツノ・ヲを演じた。3回には、相手野手の失策により出塁した走者がボークとWPで三塁まで進塁、更にこの3塁に進塁した走者を刺しに、捕手が投げたボールが逸れ、これまた無安打で得点をした。さて、5回の表、責任回数まで来た達脇だが、一死とした次打者に今日初の安打を許した。続く打者の一塁強襲ヒットを梶原が好捕したが、自身のカパーリングの遅さから、内野安打とし、盗塁も絡まり、一死二・三塁と今日初のピンチを迎えた。しかし、今日の達脇は慌てず、次打者を3球で投飛、更に5球で空三振に斬り、自分のミス自身を乗り越え、この日も0点とし、今日のゲームを2安打無四球という素晴らしい内容でマウンドを降りた。二番手としたマウンドにあがったじょーだが、連続2打者を四球で出塁させる。しかし、次打者は見逃三振に斬るが、次打者の時に三盗を決められ、且つその送球が逸れ、レフトに点々。これをレフトがホームに返球し、取っていたら、アウトのタイミングであったが、これを捕手が捕球出来ず、今日初の失点を許した。が、その後2打者を連続三ゴロに斬り、最少失点の1点に留めた。その裏の攻撃、先頭の光希がセンターオーバーの2ベースで出塁、次打者のWPの間に三塁へ進塁、次打者は結局四球を選択し、無死一・三塁、そして5番打者の時にWPで走者がそれぞれ進塁、三塁より光希がホームインし4点目、さらにじょーの左中間2ベースで梶原が生還し5点目を挙げ、今日のゲームをほぼ勝利に導いた。そして、最終回、じょーが三者凡退に斬り、ゲームセットを迎え本日のゲームを勝利した。

今日の振り返ってみると、少ないチャンスに打者が適時打を打てた事。更には失策の連鎖が無かった事。そして最大な要因は投手がゲームを作れたことであろう。やはり与四死球は、その後の盗塁により、無条件に二塁まで進塁を許してしまう可能性があるので、先ずは走者を出さない投球の心がけを今後も期待する。失点シーンは、走者が視界に入る場合だったが、その際慌てるという心境になるが、捕球出来ていればアウトに出来た事から、先ずは、捕球を先行する事だろう。残す戦いも来期を視野に入れた戦いをすべき、その為には、今日のようなゲーム内容が非常に重要である、と感じたゲームで有った。